

# 書記長集約



九州本部 西山書記長

駅体制の見直し線閉システムの変更、線路巡視の見直し、151名の人員整理が行われ、車掌区の廃止により退職を余儀なくされ、国労には組織的な打撃となった。ストを含むあらゆる戦術のもと合理化の闘いの準備をすべきだ。2点目は、今年改正される「新賃金制度」について、国労が「アジア」を取るために、具体的な準備が必要である。若い社員の退職の原因・理由を参考にして、この制度の中身の教宣や署名活動など国労の具体的な要求を前面に出した取り組みをしていくことが求められている。この2つの運動を他労組合員にも呼びかけ、問題を共有して組織拡大へと結び付けるよう意思統一することが大事ではないか。

書記長集約をする前に、鹿児島地区本部運営の意見について組織として対応していくことにし、今後代表者会などで議論していきたいと考えている。

## ①組織拡大について

国労九州本部の組織現状は大変厳しい状況にある。各委員からも組織拡大の重要性や拡大の報告がなされた。昨年2か月連続で組織拡大をすることが出来たが、日頃の地道な活動の結果が出たと言える。組織人員を大きく超える署名活動などが結果としてつなげた。職場の問題や不満の声を拾い上げ、職場の中心に座り解決・改善にむけ奮闘することが求められる。各地区本部もコロナ禍であるが創意工夫して、少数で出来ない理由より、出来ることを考える

て強化して欲しい。

## ②春闘について

この間、若い人を含む退職が続き、12月現在で昨年を上回る260人が退職している。相次ぐ期末手当のカットや低賃金・要員不足による年休も取れない状況に加え、株主だけ配当金を保障する会社を見て嫌気がさして離職している。この状況を打破するには、大幅な賃上げしかない。今春闘では要求額獲得に向けて、一致団結して行動していく事が求められている。

## ③安全安定輸送について

相次ぐ合理化により無人駅の増大、ワンマン運転拡大により、安全安定輸送が脅かされている。利用者からも不安の声が数多く出されている。ワンマン運転では安全・サービス機器の不具合が相次ぎ、本数・両数削減で積み残しも続発している。社員から多くの意見が出されているが、BPR導入以降、費用のかかることには消極的な姿勢は崩していない。会社は駅や車内放送でお客様に寄り添っていき、サービスを社風にとりつつおきながら今春のダイヤ改正でも増便は一度だけであった。国労は、地域貢献・地方交通の維持はJRの務めであると主張し運動をしていく。

また、昨年、国土交通省が出した「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」の提言により地方交通線が今後問題となってくる。有識者会議の中にある「負のスパイラル」についてまさしくJR九州が陥っているのではないかと思われる。列車の減便・減車・無人化・様々なサービスの低下によって利用者減による収益減が、また合理化となってくる恐れがある。利用者・地域・社員の声を労働組合として会社に訴え改善にむけ運動を強化していく。

## ④平和と守る闘いについて

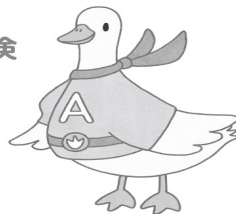
政府はウクライナ問題や中国・台湾問題等を理由に、安保3文書を改定し敵基地反撃能力の保有を明記するなど、軍事費を拡大するため大増税を計画している。国労は、各護憲運動・平和運動と連携しながら強化していく。最後に闘争方針を基に2023春闘勝利・組織拡大・労働条件改善・安全安定輸送の確保・地方ローカル線維持・統一地方選での国労議員団の当選に向けて一致団結して取り組み、その先頭に九州本部がたち奮闘することを表明し集約としたい。

## <当面する行動>

- 2月25～26日 青・婦・家中央行動（東京）
- 2月27日 中央春闘決起集会（九州本部でリモート）
- 3月4日 九州本部春闘決起集会 14:00～TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター

がん治療を幅広く  
まとめて保障するがん保険

NEW!  
アフラックの  
生きるためのがん保険  
ALL-in



No.1 がん保険  
No.1 がん保険  
No.1 がん保険

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療に加え、治療費も幅広くまとめて保障する保険です（所定の支払事由に該当する必要があります）。

■専業代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）

アベニール株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（引受保険会社）

「生きる」を創る。  
アフラック

アフラック  
東京第二法人営業部  
東京都中央区西新橋2-1-1 新橋三井ビル39F  
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2659  
〒104-8372 AFグループ2020-0059-2007029 29323